

農作業特報

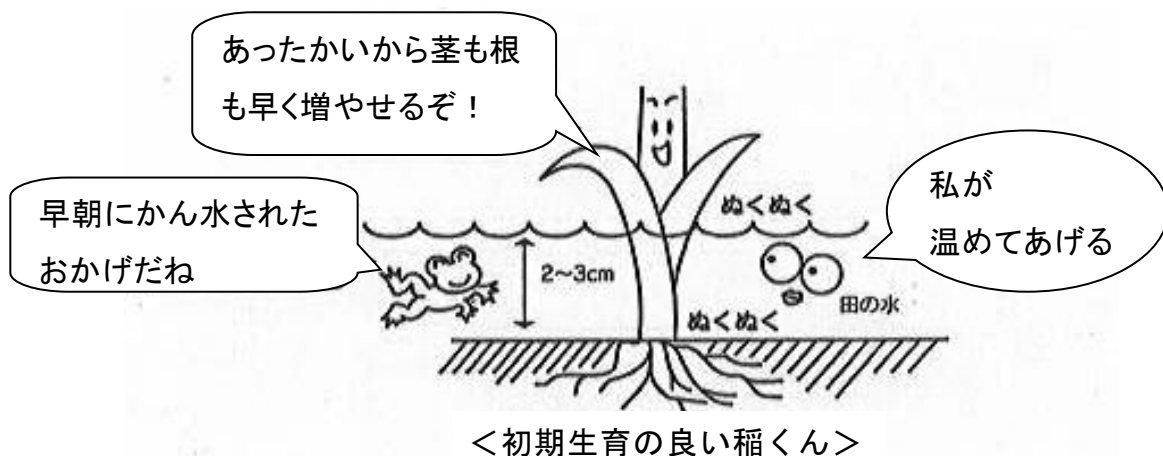
魚津市
魚津市農業技術会議

早期に分げつを確保すると、品質の良い米作りにつながります。活着後は、浅水管理によって田水温を高め、分げつ（新しい茎）の発生を促しましょう。昼夜の水温較差が大きいと、分げつの発生が促進されます。

また、田植後4週間までの中干しに備え、田植時期の早いほ場から溝掘りを始めましょう。

1. 水管理

- 活着後は、浅水管理（水深3cm程度）を徹底しましょう。
- 入水は朝・夕に行い、日中は止め水で水温を高め、分げつ（新しい茎）の発生を促し、太い茎を確保しましょう。
- 田がわいたり、藻が発生した場合は、水の入れ替えや軽い田干しを行い、根に酸素を与えましょう。
- 軽い田干しを行う場合は、風の穏やかな温かい日に実施しましょう。
 - 〔 ・ 一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に 〕
 - 〔 ・ 中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に 〕
- × チラ干しは、苗が傷んだり、雑草が発生しやすくなるため、厳禁です。
- × 深水管理は、水温が上がらず、苗が伸び過ぎて軟弱になってしまいます。

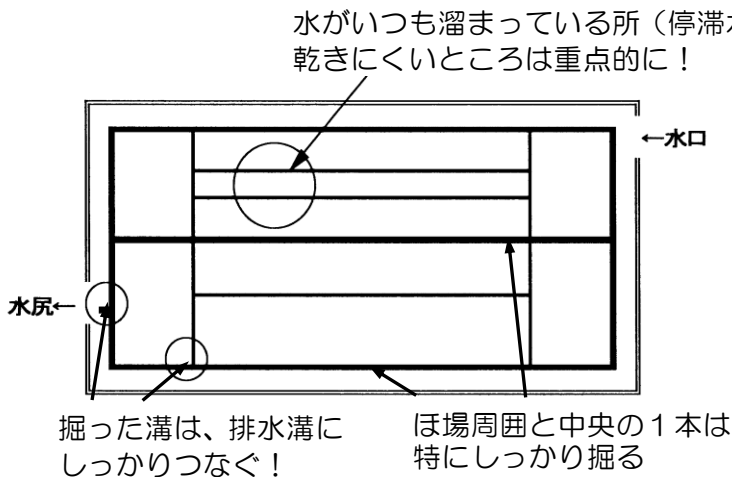


間ざし苗は、いもち病発生のもと！すぐに処分しましょう！！

春の農作業安全運動展開中！ 4月1日～5月31日

2. 溝掘り

- 中干しの効果を高めるため、6月上旬までに溝掘りを実施しましょう。
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。
 [設置の目安は『額縁』 + 『5m程度の間隔に1本』。
 “水の溜まっているところ” や “乾きにくいところ” を重点的に。]
- 掘った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。



田全体の排水を図り、
中干しの効果を高めよう!!

3. 中期除草剤の使用のポイント

薬剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
アクシズ MX 1キロ粒剤	田植後 20 日～ (ノビエ 4 葉期まで) 収穫 45 日前まで	1kg / 10a	<ul style="list-style-type: none"> ・田植 7 日後からの使用は可能であるが <u>薬害回避のため移植 20 日後からの使用を推奨</u>。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。
テッケン ジャンボ	田植後 15 日～ (ノビエ 4 葉期まで) 収穫 60 日前まで	500g(10 パック) / 10a	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>水深 6cm 以上の深水状態</u>で水田に均等に投げ入れる。 ・藻が多発しているほ場では使用しない。藻の上にパックが乗らないよう注意する。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。

※「やまだわら」には上記の中期除草剤は使用しないで下さい。

「やまだわら」に中期除草剤を使用する場合は、担当営農指導員に相談して下さい。

- 散布前に、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょう。
- 散布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後7日間は「止め水」を保ち、落水やかけ流しはやめましよう。

イネ、雑草の様子を見て、適期散布、水管理に努めましよう

散布する農薬の飛散を防止ましよう。